

月刊

書字文化

～日本書字文化協会機関紙 No62～

平成 30 年



12月号

編集長 渡邊啓子代表理事・会長 大平恵理

〒164-0001 中野区中野 2-11-6 丸由ビル 3階

電話 03 - 6304 - 8212 FAX 03 - 6304 - 8213

Eメール info@syobunkyo.org



目次 (全8ページ)

- ◇第7回伝統文化大会締め切り 2019. 1. 18 2
- ◇第7回総合大会上位入賞者の園・学校顕彰を依頼 3
- ◇コラム「こころ Eポートフォリオ」大平恵理・協会長 4
- ◇検定・ライセンス制度改革2年目 5
- ◇第4回臨書展実施要項 7
- ◇コラム「東西南北」新潟大学附属長岡中3年、植木萌心 8

ホームページ大会結果欄で「第7回総合大会」の結果掲載が始まりました。フロントページ横タスクバーの「大会」にカーソルを当てると項目欄が出るので「結果発表」をクリックしてください。

平成最後の正月に力試し

平成31年1月18日（金）応募締切で開催されます。大会を構成するのは「全国年賀はがきコンクール」（硬筆）と「学生書き初め展覧会」（毛筆）。平成最後の年の初め、貴方の力を全国レベル審査で試してみませんか。（実施要項、指定課題・解説はホームページの横タスクバーの「大会」にカーソルを当てると「伝統文化大会」がスクロールされますのでクリックしてください。年賀・書き初め手本、年賀の評価の観点は12月初旬にアップ。書き初めの評価の観点を12月中旬にアップ。印刷手本も発売。問い合わせは書文協まで）

大会の特色

① 指導の連携

書写書道教育の権威者らが、流派を超えて公正中立に審査します。最終的に書文協中央審査委員会が上位賞を決定しますが、金銀銅賞については指導教室の一審を原則的に尊重し、指導の連携を図ります。

② 他大会作品課題も受付

「学生書き初め展覧会」には自由課題の部があり、他大会への出品課題でも受付ます。全国レベルでの位置づけが分かります。

③ お手本

お手本通りと言うのではなく、字体や配列などを学ぶことを期待しています。揮毫者は「用美一体を究めた文字」と評価される大平恵理・書文協会長です。12月半ば、ホームページにアップされます。発売もします。（毛筆は1枚100円。硬筆は1枚30円。）

④ 「評価の観点」

評価の観点は「とめ・はね・はらい」などチェックポイントを50項目に分けたもので、大会課題のどの書き方がチェックされるのかを示すものです。

⑤ 「園・学校特典」

幼・保育園、学校がまとめて出品される時、一人当たり参考手本と年賀はがきコンクール応募清書用紙2枚が無料提供されます。（送料はご負担ください）

上位入賞者の学校顕彰を依頼

対象は90園・学校、延べ150人

書文協ではこのほど、総合大会共催の公益財団法人文字・活字文化推進機構と連名で、上位入賞者の在籍幼稚園・保育園・学校に「該当の入賞者を褒めてあげてください」という顕彰依頼状を送付しました。送付した園・学校数は90、該当生徒数は複数の賞を受賞した生徒がいますので延べ150人。多くの園・学校から「子供を褒める機会は多いほど嬉しい」と歓迎されています。

顕彰は入賞した子供たちが身の回りで褒められることが大事と始めたもので、総合大会の3つのコンクールの特別賞受賞者（教育特別奨励賞を除く）について学校ごとに3コンクールの特別賞入賞者を名寄せして依頼状を発送しました。教育特別奨励賞は人数が多いので依頼状にまとめ切れていませんが、一定のレベルを超えた特別賞作品なので、いずれ園・学校顕彰依頼の対象にする方針です。

「ポートフォリオ評価」時代にも貢献を

身近の人たちから褒められることが子供たちには大事なことのほか「ポートフォリオ評価」という言葉が流行しだした昨今（4ページ、コラム「こころ」参照）子供たちが学校外で取り組んでいる活動について学校に知らせておくことが大切だ、という目的もあります。さらには、学校と地域が連帯した子育てが充実するよう、地元の書塾と学校が連携するきっかけになれば、という狙いも込められています。

それぞれ園・学校の状況が異なるため、顕彰するかしないか、どういう形であるか、などは様々に異なります。書文協本部に問い合わせた来られた関西地区の小学校教頭先生の例が代表的で「子供に聞いても経緯が分からないので問い合わせたが、趣旨はよく了解しました。どういう方法をとれるか、考えます」と話されました。

書文協では近く、上位3賞については、地元教育委員会、自治体にも顕彰依頼状を送付いたしました。

書文協 E ポートフォリオ



英語の苦手な私ですが、先月号の AI（人工知能）に続いて、今月号も横文字のタイトルです。

最近、よく E ポートフォリオという言葉聞くのです。「学校の護者会で説明されたけれど、何のことやら」。こんな具合ですが、少しずつ分かってきて思いました。「なんだ、とっくに書文協がやっている個人成績の記録保存と成績証明書の発行のことじゃないの」。

ポートフォリオというのは、日本語では「書類入れ」のことだそうです。E がつくのは、書類入れがウェブ上にあるからですね。つまり、コンピュータで成績をため込んで置くわけです。大事なのは、この記録を大学入試の合否に使うことで、どうやら国を挙げての動きのようです。

「ジャパン E ポートフォリオ」というサイトが動いています。文部科学省の委託事業だそうです。高校生側が学習の記録などを電子データで蓄積しておき、それを受験先の大学が参照できる仕組みで、<https://jep.jp/>を打ち込むと、このサイトを利用する大学名も出てきます。一度見ておかれると良いでしょう。

E ポートフォリオという言葉は知りませんでしたが、実は7年も前から「書文協 E ポートフォリオ」を動かして来ました。大掛かりなシステムを駆使した門外不出のサイトです。まず個人情報を登録してもらい、そこに検定・ライセンス成績、コンクール成績などを打ち込んで永久保存します。該当の個人の求め及び在籍あるいは出身教室の同意があって成績証明書の形で開示されます。

書写書道が「生涯教育」になるよう、学びの軌跡を記録しておこうと各教室団体のサポートのために始めました。学びの振り返りの材料になるし、子育てなど一つのステージを終えた後で再び書写書道始める「リカレント」の支えにもなります。また、継続して続けたことで獲得した特技の証明に役立つのでは、と考えました。進学や就職の際に成績証明書として発行し、喜ばれています。

「学校外での自主活動」が評価され、全ての基礎になる潜在能力として「継続する力」が求められる今、書文協 E ポートフォリオの価値は高まってきました。ネットから遮断されたサーバーの中に静かに存在する電子システム。その価値は、書文協の社会的評価で決まることを胸に刻んで動かしています。

検定・ライセンス制度改革

書文協は昨年9月下旬の会員総会で、検定・指導者ライセンス制度改革を打ち出しました。それから1年。今年は夏の相次ぐ災害のため各教室が取りこんでおり、9月24日の中央審査会当日恒例の会員総会は中止しましたが、当機関紙上で今後の方針を発表します。これまで、月刊書字文化に掲載してきたものを中心にまとめたものです。ご意見、ご質問を何なりと書文協本部にお寄せください。

<目標>

書文協の中心事業として検定・ライセンス試験を位置づける。本人の技量向上だけでなく、社会的評価の高い制度とし、検定は各種内申などにも効果あるものを目指す。指導者ライセンスは、実際にサークルなど現場で役立つことを大事にする。

<検定試験>

- ① 硬筆は楷書・行書に分かれている検定を一本化した新硬筆検定（硬筆課題検定）を2014年に新設。
- ② 毛筆は2020年度に半紙検定、本検定を一本化した「新毛筆検定」をスタートさせる。
- ③ 検定の一分野として、連綿、百人一首などカルチャー部門を置く。これにより検定は硬筆、毛筆、カルチャーの3部門となる（2020年度以降）
- ④ 検定は偶数月に実施する。該当月の20日までに受験作品を本部に送付、翌月15日を目途に返送する。
- ⑤ 毎回の検定受験課題数に制限は設けない。
- ⑥ 新硬筆課題検定添削指導コースを設けた（平成30年秋）
- ⑦ 従来の検定価格を改定

（新硬筆関連の実施概要、従来検定からの移行のための特別段級認定制度、添削指導コースなどの文書は、ホームページの「検定・ライセンス」ボタンより入った中段「検定試験の種類」、月刊書字文化ウェブ版資料編を参照してください）

<ライセンス試験>

- ① 検定成績と切り離し実施 現行は検定試験の1番課題からAまたはS合格で埋ると一定の課題数ごとにライセンス試験の受験（無試験での段級申請含む）ができる仕組みでしたが、新制度では、受験者が受験レベルを自由に指定できます。

- ② 指導者に必要な資質を求める点も加味 新制度では、作文などで受験者の書写書道及び指導者観を問う出題も含めます。
- ③ ライセンス試験はこれまで何種にも分かれていましたが、検定試験と同一の3種類とします。資格も10段階にも分かれていましたが、これを初・中・上・師の4段階とし、皆に分かり易く、より実用的なライセンスとします。
- ④ ライセンス試験は年2回、5月と11月、その手続き期間は前々月の3月、9月とします。

<現行制度との関係>

- ① 現行の検定の段級・ライセンス資格は永久保存され、本人及び在籍教室の要求により記録が当人に開示される。また、内申資料として記録書が発行される(有料)
- ② 新検定が実施された場合、新たに旧検定での受験は認めない。
- ③ ただし、すでに検定受験を実施している教場は、教場指導の安定性を重視した措置として新入生を含め旧検定・ライセンスでの受検を認める。
- ④ 検定料金は平成30年10月から改定。新たに検定を始める人は新料金とする。ただし、すでに検定受験をしている人は平成31年4月から適用する。
- ⑤ 検定テキストは新硬筆検定を除き平成30年3月から販売を中止した。このため現行テキストのコピー使用を許可する。

<検定の改訂後の受験料>

	新硬筆	硬筆楷書 硬筆行書	半紙 本検定	毛筆行書Ⅰ 連綿 草書	百人一首	細字行書
1～24番	500円	500円	500円	500円	400円	500円
25～48番	550円	550円	550円	600円	450円	500円
49～72番	600円	600円	600円	800円	500円	500円
73～96番	650円	650円	700円	900円	550円	
97～120番	700円	700円	800円	1,000円	600円	
				毛筆行書Ⅱ は全て 1,000円		

第4回臨書展実施要項

2019・3・15日（金）締め切り

主催 一般社団法人日本書字文化協会

後援（予定） 東京都青梅市日本中国友好協会、中国書法学院
国際芸術家連盟、NPO 法人日中友好交流促進会
蘇州・寒山寺、中国国立南京芸術学院日本校、蘇州呉昌碩研究会

応募資格 全部門とも年齢不問

募集部門

- ◆臨書の部（1） 高校教科書掲載の臨書教材から4文字以上
- ◆臨書の部（2） 常設課題 張継作 漢詩「楓橋夜泊」の起承転結の1句以上

月 落 烏 啼 霜 滿 天
江 楓 漁 火 對 愁 眠
姑 蘇 城 外 寒 山 寺
夜 半 鐘 聲 到 客 船

- ◆楷書筆写の部 半紙ないし八ツ切

小学生でも臨書に接する機会となるよう設けました。

- ・1字 次のうちどれか1文字
月 滿 天 漁 火 城 外
- ・2字 漁火
- ・3字 寒山寺



賞 大賞（臨書の部1・2から）、日本書字文化協会会長賞
青梅市日中友好協会会長賞、日中文化交流促進会理事長賞
優秀賞

出品料 臨書の部は1点1,080円（幼児・小中学生は756円）

楷書書写の部 同756円（幼児・小中学生は540円）

個人出品は一律1点1,620円

手本 指定課題の部は漢詩・楓橋夜泊の拓本をA3判に複写したものを、楷書漢字の部の手本（大平恵理揮毫）はA4判で計9枚。手本はいずれも1枚当たりA4判100円、A3判200円。希望者は送料100円を加えた相当額分の切手を添えて、書文協本部臨書展係りに申し込んでください。

発表 月刊書字文化5月号、団体・個人には賞状・副賞の発送にて発表にかえさせていただきます。優秀作品展示会 5月下旬 東京都青梅市沢井、澤乃井ガーデンギャラリー。東京・中野ゼロホールでの展示も検討中。

東・西・南・北

新潟大学教育学部附属長岡中学校 3年 植木 萌心 (新潟県長岡市)

総合の部で文部科学大臣賞を受賞して

私は文武両道をモットーとしています。今は部活動(ソフトテニス部)を引退しましたが、夏までは学業と部活動と書写書道の両立に取り組んできました。

書写書道の練習で培った忍耐力と、努力が報われた時の充実感、困難なことでも克服できるパワーの源となります。現に、部活動では、入部当初は弱小だった我がソフトテニス部は、遂に市内大会を勝ち抜き、団体でも私個人でも地区大会に進むまでになりました。

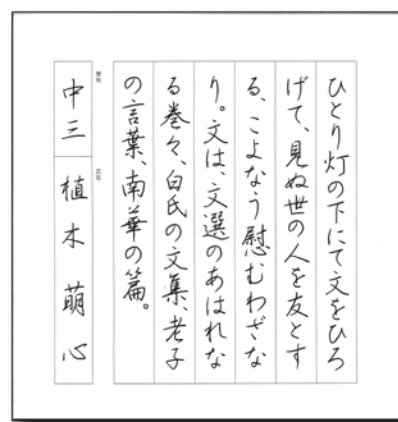
とは言っても、時間には限りがあり、学業と書写書道の両立のためには工夫が必要です。具体的には、テスト前だからといって慌てないように普段から学習を進めておくことや、ひと月ごとに計画を立てることを実践しました。書写の大会練習は、できる時に少しずつ繰り返すことで、学業との両立を図りました。そのお陰で学校の成績にも効果があるので一石二鳥ですが、受験生でもあるこの夏の総合大会では、副会長を務めている生徒会活動も忙しく、時間の確保にとっても苦労しました。

さて、高校受験を控えた今、少しだけ将来のことも考えています。理系が得意なので、医師か薬学の研究か迷っていたのですが、今年、医師の仕事を目の当たりにする機会があり、生半可な覚悟ではできない大変な仕事だと感じました。今は、病気で苦しむ人のために薬を開発したいと思っています。

どんな職業に就いても、勉強が大切だと思いますが、今の私があるのは、幼稚園から続けている書写書道のお陰です。高校や大学だけでなく就職でも、身に付けた美しい文字をアドバンテージとして活かしていきたいです。

編集後記 総合大会、伝統文化大会共に総合の部を置いています。毛筆でも硬筆でも優秀な成績を収めた人の中から授賞者を選んでいきます。総合大会は文字文化賞。そのグランプリが文部科学大臣賞です。とても栄誉ある賞です。植木さんは通信教育でここまで来ました。

その秘訣は？と原稿をお願いしたのですが、想像以上でした。授業にソフトテニス部に生徒会。そこを乗り切った日々の工夫が書かれています。明快な将来の夢も。若いのに、見事な生き様です。



↑ 全国硬筆コンクール

全国学生書写書道展 →

